

## 第 11 回 東北大学附置研究所若手アンサンブルワークショップを開催しました (2023/12/13)

テーマ：部局間・異分野共同研究、学際、若手研究者

場所：東北大学片平キャンパスさくらホール

URL：<https://web.tohoku.ac.jp/aric/news/event/20231213.html>

2023年12月13日(水)、東北大学片平キャンパスさくらホールにおいて、第11回東北大学若手アンサンブルワークショップが開催されました。本ワークショップは、本学附置研究所・センター連携体、研究所長会議が主催し、本学附置研究所若手アンサンブルプロジェクトが実行委員会として毎年開催している、学術交流イベントです。

本ワークショップの目的は、本学附置研究所・センター連携体所属の若手研究者らに部局間共同研究のシーズを見つける場を提供し、さらに共同研究の発展を促進・強化することです。また当該プロジェクトでは、若手研究者の部局間共同研究を促進するため、学内の研究資金「アンサンブルグラント」の新規課題および継続課題を公募しており、本ワークショップはこれら採択研究課題の経過報告の場にもなっています。

当研究所からは、上記プロジェクトのワーキンググループ委員を務める原裕太助教(2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)が運営に関わり、司会進行を務めたほか、齋藤玲助教(認知科学研究分野)が招待講演を行いました。ポスターセッションでは計31件の発表があり、当研究所教員が共同研究者を務める研究課題も6件あり(齋藤助教が流体科学研究所、電気通信大学の研究者らと進める研究(P-24)、杉浦元亮教授(認知科学研究分野)が医学系研究科、加齢医学研究所、電気通信研究所等の学生・研究者らと進める研究(P-4・5・7・26・27))、参加者との間でそれぞれ活発な議論が展開されました。

タイムテーブルは以下の通りです。

※下線は当研究所所属の教員

13:00 開会挨拶 丸田 薫 教授(今年度所長会議代表、流体科学研究所所長)

13:10 趣旨説明 神田雄貴 助教(今年度若手アンサンブルプロジェクト代表)

13:20 招待講演 齋藤 玲 助教(災害科学国際研究所)  
「災害科学への挑戦：認知科学・心理学・教育学を専門として」

14:00 ポスターセッション コアタイム(1)

P-5：Xinyi He・杉浦元亮  
「Memory Misattribution between Self and Other」

P-7：藤田健吾・Niklas Ewald・田仲真啓・Miao Cheng・Chia-huei Tseng・杉浦元亮・北村喜文・竹本あゆみ  
「ストーリーテリングにおけるアバターの瞬き同期の影響」

P-27：高橋 慧・Hyeonjeong Jeong・竹本あゆみ・杉浦元亮  
「～最適な作業環境を求めて～他者の存在感がもたらす作業効率への影響は文化によって変わるのか」

15:30 写真撮影

15:40 ポスターセッション コアタイム(2)

P-4：竹本あゆみ・杉浦元亮  
「In Human-Computer Interaction, Facial Features Inform the Emotional state of Older Adult」

P-24：阿部圭晃・齋藤 玲・新竹 純  
「かっこいい航空機研究: Hard and soft sciences による萌芽的検討」

P-26：土屋百世・竹本あゆみ・Choi Jeyoon・杉浦元亮  
「悲しい音楽はなぜ好まれる?: 悲しい音楽を嗜好する脳基盤の解明」

(次頁へつづく)

17:20 招待講演 李 昊 准教授（材料科学高等研究所）  
「Fusing Theory and Experiments to Realize Materials Design」

17:50 優秀発表賞授賞式、閉会式

18:00 立食懇親会

文責：原 裕太（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）  
齋藤 玲（認知科学研究分野）



参加者の集合写真



開会挨拶（丸田薫・流体科学研究所長）



齋藤玲助教による招待講演



ポスターセッションの様子（1）



ポスターセッションの様子（2）